

令和 2 年度

通常総会

北海道社会教育委員連絡協議会

電話(直通)・FAX 011-271-5453

電話(代表) 011-231-4111(内)36-372

令和2年度 通常総会(書面決議)

1 報 告

- (1) 議案第1号 令和元年度事業報告 1
- (2) 議案第2号 令和元年度一般会計及び財政基金特別会計収支決算及び
令和元年度一般会計及び財政基金特別会計監査報告 6

2 議 事

- (1) 議案第1号 令和2年度活動方針(案) 10
- (2) 議案第2号 令和2年度事業計画(案) 12
- (3) 議案第3号 令和2年度一般会計収支予算(案) 14
- (4) 議案第4号 令和2年度財政基金特別会計収支予算(案) 16
- (5) 議案第5号 役員の改選(案) 17

〈議案第1号〉

令和元年度 事業報告

1 各種会議

(1) 北海道社会教育委員連絡協議会関係

31年 4月19日(金) 第1回理事会 (かでの2・7 団体事務室会議室)
通常総会 (かでの2・7 1030 会議室)

元年 6月14日(金) 第2回理事会 (団体事務室会議室)

7月 8日(月) 第3回理事会～特に議案なく中止

10月10日(木) 第4回理事会 (帯広市民文化ホール)

2年 3月16日(月) 第5回理事会 (書面理事会)

4月 7日(火) 会計監査 (団体事務室会議室)

(2) 一般社団法人全国社会教育委員連合関係

元年 5月17日(金) 第1回・第2回理事会 (東京)
第2回・第2回総会 (東京)

10月23日(水) 第3回理事会 (神戸市)

24日(木) 第3回総会 (神戸市)

2年 3月 6日(金) 第4回理事会・総会 (東京)

2 理事会・総会

(1) 第1回理事会

○日時 平成31年4月19日(金)13:15～14:15

○会場 かでの2・7 会議室

○議事

①2019年度通常総会議案について

(2) 通常総会

○日時 平成31年4月19日(金)14:30～15:35

○会場 かでの2・7 1030 会議室

○議事

①平成30年度事業報告

②平成30年度一般会計及び財政基金特別会計収支決算について

③平成30年度一般会計及び財政基金特別会計監査報告

④2019年度活動方針(案)について

⑤2019年度事業計画(案)について

⑥2019年度一般会計予算(案)について

⑦2019年度財政基金特別会計予算(案)について

(3)第2回理事会

○日時 令和元年6月14日(金)14:00～16:00

○会場 団体事務室会議室

○議事

①令和元年度全道表彰者の決定について

②令和元年度全国表彰候補者の推薦について

③北海道社会教育研究大会(留萌大会)について

(4)第3回理事会

特に議案なく中止

(5)第4回理事会

○日時 令和元年10月10日(木)11:00～12:00

○会場 帯広市民文化ホール

○議事

①第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)について

②第61回北海道社会教育研究大会(留萌大会)について

(6)第5回理事会

*令和2年3月16日(月)に開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議招集を取り止め書面理事会とした。

○議事

①令和元年度事業報告及び決算見込みについて

②令和2年度活動方針(案)について

③令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について

④第40回北海道市町村社会教育委員長等研修会について

⑤第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)について

3 研修会・研究会

(1)第39回北海道市町村社会教育委員長等研修会

◆研究主題

「地域コミュニティの維持・復活と社会教育委員のかかわり」

～社会教育と学校教育の連携・協働を進めるために～

○期日 令和元年7月8日(月)～9日(火)

○会場 かでの2・7 大会議室、520研修室、820研修室

○全体会 事例発表

・テーマ 「社会教育と学校教育の連携・協働を進めるために」

・発表者 釧路町社会教育副委員長 阿部 加奈子 氏

士別市社会教育委員 酒田 純子 氏
登別市社会教育委員 南 康子 氏
稚内市社会教育副委員長 丸山 修 氏

・コーディネーター 北海道教育庁生涯学習課 主幹 五十嵐 秀介 氏

○分科会 グループワーク

研究主題に関わるグループワーク（ワールドカフェ方式）

○参加人員 121市町村 200名

(2)第59回北海道社会教育研究大会（十勝大会）

◆研究主題

「人生100年時代の地域づくりと社会教育」

～持続可能な地域創生と社会教育委員の役割～

○期日 令和元年10月10日（金）～11日（土）

○会場 帯広市民文化ホール、十勝プラザ

○記念講演

・演題 「誰もが輝くプラチナ社会～人生100年時代の地域づくりと教育～」

・講師 プラチナ構想ネットワーク会長

(株)三菱総合研究所理事長 小宮山 宏 氏

○パネルディスカッション

「令和の依田勉三」応援シンポジウム

・パネラー

浦幌町(株)KIZUKI代表 三村 直輝 氏

広尾町菊地ファーム・広尾町社会教育委員 菊地 亜希 氏

帯広南商業高校クッキング部 部長 峯田 恵那 氏・副部長 小川 真莉奈 氏

芽室高校ボランティア部 鎌田 琴葉 氏・遠藤 玲七 氏・町野 綾香 氏

・コーディネーター 幕別町社会教育委員長 岩谷 史人 氏

○分科会 小グループ協議

・第1分科会 時代の変化に対応した社会教育活動

・第2分科会 家庭の教育力の再構築と支援の在り方

・第3分科会 地域で進める青少年教育

・第4分科会 シニア世代の社会参加

・第5分科会 地域の環境を生かす

・第6分科会 地域づくり

○参加人員 480名

(3)第61回全国社会教育研究大会兵庫大会

◆研究主題

「多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践」

○期日 令和元年10月23日(水)～25日(金)

○会場 神戸ポートピアホテル・ポートピアホール

(4)管内研修

○各管内ごとに社会教育委員及び関係者等が一堂に会しテーマを設定し研鑽に努めるとともに交流を図った。

4 広報等

(1)機関紙「道社連協だより」の発行

○第155号(令和元年9月)、第156号(令和2年2月)の発行

○発行部数 2,400部

(2)一般社団法人全国社会教育連合機関誌「社教情報」の紹介、講読の取りまとめ等

○各市町村教育委員会及び社会教育委員に「社教情報」の紹介、講読の取りまとめ

○「社教連会報」「ニューズレター」の配布

5 表彰

(1)永年勤続功労社会教育委員表彰

○北海道社会教育委員連絡協議会表彰規程第2条に基づき52名を表彰した。

北側 理(北広島市)	釣 晴彦(千歳市)	小林 元彦(八雲町)
高森 愛美(長万部町)	駒形 勝博(共和町)	新井 利八(共和町)
八柳 克博(夕張市)	萩野 里香(栗山町)	永池 英彦(栗山町)
安藤 晴美(栗山町)	藤原賀津雄(秩父別町)	伊藤 弘子(士別市)
松井 美世(南富良野町)	目黒 義重(南富良野町)	早川日出利(苫前町)
渡部 和人(苫前町)	高木 晃(枝幸町)	黒田 幸市(網走市)
成瀬三津子(網走市)	谷澤 新一(清里町)	加藤 彰祥(清里町)
村上 静男(清里町)	木村 恵子(遠軽町)	小玉 徹(遠軽町)
藤田 琴絵(遠軽町)	鏡 栄子(遠軽町)	原本 光枝(大空町)
小塚 順一(登別市)	畑山 功一(登別市)	運上 英昭(えりも町)
矢野 明子(日高町)	本山 タイ(新ひだか町)	忍関 崇(新ひだか町)
藤川 幸二(音更町)	矢野美知子(音更町)	池田啓一郎(音更町)
林 眞佐子(音更町)	佐藤 悦子(鹿追町)	神谷 秀敏(鹿追町)
東原真智子(鹿追町)	菊地めぐみ(鹿追町)	伊藤 明美(鹿追町)
田村 園江(新得町)	山田 園子(新得町)	岩谷 史人(幕別町)
新保 都(幕別町)	山口由美子(幕別町)	鈴木 譲二(幕別町)
江口サチ子(標茶町)	新関恵美子(根室市)	今村 賢一(中標津町)
長谷川 薫(標津町)		

(2) 全国社会教育委員連合会長表彰

○一般社団法人全国社会教育委員連合表彰規程第4条の規程に基づき5名が受彰した。

炭谷 憲治（留萌市） 柳谷 克彦（清里町） 岸 規子（滝上町）

井上 秀幸（滝上町） 原田 純子（根室市）

<議案第2号>

令和元年度 一般会計収支決算書

◆収入の部

(単位:円)

科目	元年度予算額	元年度決算額	増・減△	備 考
会 費	5,994,000	5,928,000	△ 66,000	3,000円×1,976人
賛助会員会費	12,000	18,000	6,000	3,000円×6人
交 付 金	100,000	100,000	0	全国社会教育委員連合から
委員長研修費	450,000	585,000	135,000	3,000円×195人
繰 越 金	1,120,487	1,120,487	0	平成30年度繰越金
雑 収 入	25,513	31,776	6,263	社教情報手数料(80・81号)31,756 円 預金利息 20 円
合 計	7,702,000	7,783,263	81,263	

◆支出の部

(単位:円)

科 目	元 年度予算額	元 年度決算額	増・減△	備 考
管 理 費	4,325,000	3,574,570	△ 750,430	
人 件 費	2,280,000	2,262,000	△ 18,000	給与・手当(交通費含む)
福利厚生費	200,000	154,995	△ 45,005	社会保険料(健康保険、厚生年金保険) 労働保険料
旅 費	1,300,000	679,674	△ 620,326	会長(東京都)、監査 理事会(1回)
事 務 費	50,000	61,959	11,959	消耗品、コピー用紙
印刷・図書費	10,000	10,560	560	月刊社会教育購入代
通 信 費	180,000	151,032	△ 28,968	電話料、宅配料、振込手数料、広告料
使用料・賃借費	200,000	174,350	△ 25,650	事務室使用料、コピーレンタル料 会議室使用料 コピーPC料
負 担 金	80,000	80,000	0	全国社教連・道生涯学習協会
渉 外 費	25,000	0	△ 25,000	
専 業 費	2,980,000	2,862,709	△ 117,291	
北海道大会費	320,000	307,012	△ 12,988	
管内研修助成金	1,290,000	1,291,232	1,232	85,000円・7管内、90,000円・2管内 100,000円・4管内、105,000円・1管内
委員長研修費	450,000	483,950	33,950	会場借上、講師謝金・旅費、 企画委員会旅費
研修派遣費	370,000	221,558	△ 148,442	全国・全道大会派遣旅費(2人)
表 彰 費	410,000	437,505	27,505	道表彰盾(52人)、 全国表彰祝い品(5人)
機関紙発行費	140,000	121,452	△ 18,548	道社連協だより(2回) 原稿執筆者謝礼(6名)
繰 出 金	0	200,000	200,000	財政基金特別会計へ
予 備 費	397,000	289,872	△ 107,128	パソコン購入(2台)
合 計	7,702,000	6,927,151	△ 774,849	

◆差引残額

(収入額) 7,783,263 - (支出額) 6,927,151 = (残 額) 856,112 (次年度へ繰り越し)

◆収入の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	元年度決算額	増・減△	備 考
繰越金	4,052,563	4,052,563	0	30年度繰越金 ゆうちょ総合 392,858 道銀定期 2,960,724 北洋銀行 698,981
繰入金	0	200,000	200,000	一般会計から繰入
雑収入	258	261	3	ゆうちょ総合口座利息 1 道銀定期利息 251 北洋銀行利息 9
合 計	4,052,821	4,252,824	200,003	

◆支出の部

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増・減△	備 考
合 計	0	0	0	

◆差引残額

収 入 支 出 残 額
4,252,824 - 0 = 4,252,824 (次年度繰越金)

◆繰出金の経緯

○平成24年度 234,670 円
 ○平成25年度 365,845 円
 ○平成26年度 895,197 円
 ○平成27年度 1,000,925 円
 ○平成28年度 1,453,162 円
 ○平成29年度 1,500,000 円
 ○平成30年度 △ 694,906 円
 計 4,754,893 円

令和元年度 一般会計及び財政基金特別会計監査報告

令和元年度一般会計及び財政基金特別会計に係る下記帳簿、証拠書類を監査した結果、
適正に執行されていることを確認したので報告いたします。

記


- 1 一般会計収支決算に係る帳簿・証票・預金通帳
- 2 財政基金特別会計収支決算に係る帳簿・証票・預金通帳

※監査年月日 令和2年4月7日

令和2年4月8日

北海道社会教育委員連絡協議会

監事 佐藤レイ 

監事 高岡いづみ 

〈議案第1号〉

令和2年度 活動方針 (案)

昭和24年6月に社会教育法が制定されてから70年が経過しました。

昭和、平成そして令和の70年の時代の流れの中で、私たちを取巻く環境はこれまで経験したことのないようなスピードで大きな変化を遂げてきました。

そして今日、人口減少・高齢化、技術革新、グローバル化の浸透、地域コミュニティの弱体化、地域間格差などますます複雑で困難な課題を抱えた激動の社会になっていく中、今後、地域社会においては住民が主体となって様々な課題解決や変化の対応に取り組む力を持つことがこれまで以上に求められています。

いつの時代にあっても、社会がどのように変化していこうとも、教育の重要な分野である社会教育に求められることは、変化に対応し課題に立ち向かっていく有為な人材を育てることに変わりはありません。

社会教育委員制度は、社会教育行政に広く地域の意見等を反映させるため、教育委員会の諮問機関として設けられている制度です。私たちは活動を通して自らの地域の社会教育をより充実し活発に進めるという点で社会教育行政と目標を同じくするものであり、行政のパートナーであり応援団でもあることから、時には行政と共に汗を流し、時には住民の声なき声を行政に届けることが大切な役割です。

そのため、当協議会は、昭和31年に全国の連絡協議会の先達として組織し全国をリードした諸先輩の姿に思いを寄せ、全道の社会教育が今後一層充実されることを願い、「交流・連携・研修・支援」を意識しながらその役割を果たしてまいります。

- 1 社会の変化に対応する社会教育の役割を考え、委員一人ひとりが自己変革を図るとともに、社会教育の振興、生涯学習の推進に努めます
 - (1) 各市町村の社会教育推進計画等の策定・実践
 - ・住民のニーズや地域課題の把握
 - ・住民の学習意欲の高揚啓発と学習機会の場や学習成果を活かす場の設定
 - ・地域住民等と行政関係者が協働して課題解決する仕組みづくり
 - (2) 家庭教育の充実、青少年の豊かな心の育成などの啓発活動
 - ・親を対象にした事業の促進
 - ・地域の人材・組織と連携しての活動
 - ・学校、家庭、地域社会の連携・協働
 - (3) 各種地域コミュニティの形成と住民参画のまちづくりの推進
 - ・公共を支える人材の育成

- ・地域課題解決に向けた自治会、関係団体（民間含む）等との連携
 - ・官民協働による文化・スポーツ活動、異世代間の交流事業等の促進
- 2 研修活動、情報交流活動を積極的に行い、社会教育委員としての役割の自覚と資質の向上を図るとともに、研修成果の地域住民への還元に努めます
- (1) 研修会等における外部学識経験者等の協力に加え、社会教育委員の運営参画（役割分担）の活発化
- ・研修・研究事業の工夫・改善を図るため、事業の企画・実行委員会の充実
 - ・研究テーマ、内容（協議題等）、協議方法の改善、調査項目等の検討
- (2) 各種研修会、研究会への積極的な参加と還元（全国、全道、地区、市町村等）
- ・地区研修又は市町村研修における新任社会教育委員研修の導入・充実
 - ・社会教育委員講師の育成（講師リストの作成、近隣管内・市町村での派遣交流）
- (3) 広報活動等による情報の提供と交流の充実
- ・全国機関誌「社教情報」の購読の奨励
 - ・機関紙「道社連協だより」の充実
 - ・各種研修会時における地域情報の交流促進（道内の優れた実践の収集・蓄積）
 - ・IT活用の検討
- (4) 永年の功績に対する功労者の顕彰
- ・北海道社会教育委員連絡協議会表彰
 - ・全国社会教育委員連合表彰候補者の推薦
- 3 時代の流れを見据えた組織の運営・充実に努めます
- (1) 自主自立を基本理念とした運営
- ・社会教育委員の主体的な参画による組織運営（自主研修の立ち上げ）
 - ・道、管内及び市町村社連協事務局間の密接な連携
- (2) 行政機関や関係機関・団体等との連携、協力
- ・北海道教育委員会、全道社会教育主事会、全国社会教育委員連合や北海道公民館協会など道内社会教育関係団体との連携・協力
- (3) 道社連協事務局の適切な運営
- ・予算の効率的執行
 - ・社会教育委員活動の活発化や会員数の減少などの変化に対応した運営

<議案第2号>

令和2年度 事業計画 (案)

1 各種会議

(1) 理事会

- ・第1回 令和2年 4月17日(金) (かでの2・7)
- ・第2回 令和2年 6月15日(月) (かでの2・7)
- ・第3回 令和2年 7月 6日(月) (かでの2・7)
- ・第4回 令和2年10月 8日(木) (函館市)
- ・第5回 令和3年 3月 (かでの2・7)

(2) 通常総会

- ・令和2年4月17日(金) かの2・7 1030会議室

(3) 第41回北海道市町村社会教育委員長等研修会企画委員会

- ・企画委員による研修内容・方法等の検討(3回予定)

(4) 一般社団法人全国社会教育委員連合理事会・総会

- 第1回 令和2年 5月22日(金) 理事会・総会(東京)
- 第2回 令和2年11月11日(水) 理事会(長岡市)
- 11月12日(木) 総会(長岡市)
- 第3回 令和3年 3月(東京)

2 研修会・研究会

(1) 第40回北海道市町村社会教育委員長等研修会

- ・主題:「安全・安心なまちづくりと社会教育委員のかかわり」
～防災・減災をめざす地域づくりの中で社会教育委員にできること～
- ・期日:令和2年7月6日(月)～7日(火)
- ・会場:かの2・7 大会議室・520研修室・820研修室

(2) 第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会

- ・主題:「持続可能な社会をめざして社会教育ができること」
～持続可能社会に向けて社会教育委員がなすべきこと～
- ・期日:令和2年10月8日(木)～9日(金)
- ・会場:函館市 函館芸術ホールほか

(3) 各管内社会教育委員研修会(地区研修会)

- ・開催時期:令和2年5月～12月

(4) 第62回全国社会教育研究大会(新潟大会)

- ・主題:「新しい社会教育をデザインする」
～つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現～
- ・期日:令和2年11月11日(水)～13日(金)

・会場：長岡市 シティホールプラザ「アオーレ長岡」

3 機関紙（誌）等の発行・紹介、資料（情報）等の配布

(1) 機関紙「道社連協だより」発行

・第157号（令和2年9月）

第158号（令和3年2月）

・記録性、情報提供に加え、会員の声を紹介するコラム「社会教育委員の眼・心」の掲載

第157号～留萌、胆振管内

第158号～後志、釧路、桧山、根室管内

(2) 一般社団法人全国社会教育委員連合機関誌「社教情報」の紹介、講読取まとめ

・年2回発行（NO83、NO84）

(3) 一般社団法人全国社会教育委員連合発行の「社教連会報」「ニュースレター」の配布

4 表彰

(1) 永年勤続功労社会教育委員表彰

・市町村社会教育委員として通算10年以上在任し社会教育の振興に貢献した者、特に顕著な功績があった者を表彰する。

(2) 全国社会教育委員連合会長表彰候補者の推薦

・一般社団法人全国社会教育委員連合表彰規程施行細則の推薦基準に基づき表彰候補者を推薦する。

<議案第3号>

令和2年度 一般会計収支予算書 (案)

◆収入の部

(単位:円)

科目	2年度予算額	元年度予算額	増・減△	備 考
会 費	5,928,000	5,994,000	△ 66,000	3,000円×1,976人
賛助会員会費	18,000	12,000	6,000	3,000円×6人
交付金	100,000	100,000	0	全国社会教育委員連合から
委員長研修費	450,000	450,000	0	3,000円×150人
繰越金	856,112	1,120,487	△ 264,375	令和元年度繰越金
雑収入	23,888	25,513	△ 1,625	社教情報手数料 11,930×2(82,83号) 預金利息 28円
合 計	7,376,000	7,702,000	△ 326,000	

◆支出の部

(単位:円)

科 目	R2年度予算額	元年度予算額	増・減△	備 考
管 理 費	4,196,000	4,325,000	△ 129,000	
人 件 費	2,330,000	2,280,000	50,000	給与・手当(交通費)
福利厚生費	200,000	200,000	0	社会保険料(健康保険) 労働保険料、健康診断料
旅 費	1,100,000	1,300,000	△ 200,000	会長(東京都、札幌市) 理事会(6月、2月)、監査
事 務 費	50,000	50,000	0	総会資料作成、消耗品、コピー用紙、 封筒等
印刷・図書費	11,000	10,000	1,000	月刊「社会教育」
通 信 費	170,000	180,000	△ 10,000	電話料、宅配料、振込手数料、切手代、 広告料
使用料・賃借費	200,000	200,000	0	事務室使用料、コピーレンタル料、 会議室使用料
負 担 金	110,000	80,000	30,000	全国社会教育委員連合、道生涯学習協会
渉 外 費	25,000	25,000	0	慶弔費
専 業 費	2,942,000	2,980,000	△ 38,000	
北海道大会費	320,000	320,000	0	
管内研修助成金	1,292,000	1,290,000	2,000	地区研修助成費
委員長研修費	450,000	450,000	0	会場借上げ、講師謝金、講師旅費 企画委員旅費
研修派遣費	330,000	370,000	△ 40,000	全国・全道大会派遣旅費(2名)
表 彰 費	410,000	410,000	0	道表彰表彰盾(40人程度)、送料 全国表彰祝い品(5人)
機関紙発行費	140,000	140,000	0	道社連協だより(2回) 原稿執筆者謝礼
予 備 費	238,000	397,000	△ 159,000	その他必要経費
合 計	7,376,000	7,702,000	△ 326,000	

<議案第4号>

令和2年度 財政基金特別会計予算書(案)

◆収入の部

(単位:円)

科目	2年度予算額	元年度予算額	増・減△	備 考
繰越金	4,252,824	4,052,563	200,261	19年度繰越金 道銀定期 2,960,975 北洋銀行 1,291,849
繰入金	0	0	0	
雑収入	260	258	2	利息(2口座) 道銀定期 251 北洋銀行 9
合 計	4,253,084	4,052,821	200,263	

◆支出の部

(単位:円)

科目	2年度予算額	元年度予算額	増・減△	備 考
合 計	0	0	0	

〈議案第5号〉

役員改選について（案）

1 提案理由

平成30年度に選出した役員（会長、副会長、理事、監事）の任期（2年）が満了となるため、新たに選出しようとするものです。

（参考）会則の抜粋

- 第7条 役員は総会において選任する。理事は管内社連協の代表をもってあてるものとし、総会の承認を受ける。
- 2 会長、副会長は理事の互選により選出し、総会の承認を受ける。
 - 3 監事は総会において評議員より選出する。

2 提案内容

総会での役員選任に当たって会則では、上記1の会則抜粋のとおり、各管内の総会が終了し、管内代表が選任されていることが前提となります。

しかしながら現時点では各管内の社連協総会が終えておらず、14管内すべての代表が決まるのは5月下旬となります。

そのため、総会で全管内の代表者名を挙げて承認を得ることが出来ないことから、以下による内容で承認をいただきたく提案するものです。（過去の改選期でも総会において同様の内容等で提案し承認されていたこと。）

記

◆ 理事の選任

今後、各管内の総会において選任された管内代表を道理事として承認すること。

◆ 監事の選任

監事の選出は、これまで石狩管内及び空知管内からの選出を慣例としてきていることから、両管内の評議員の中から選出すること。

◆ 会長及び副会長の選任

会長、副会長人事についてはこれまで会長に一任しており、次のとおり提案します。

○会長は、

十勝管内芽室町 委員長 岩野 真志 氏（現道社連協副会長）

○副会長は、

現時点においてすべての管内の代表が確定していないことから、選任は新会長に一任する。

道社連協第3号
令和2年4月23日

各市町村教育委員会教育長
市町村社会教育委員の会委員長（会長、議長）様

北海道社会教育委員連絡協議会
会長 岩野真志

北海道社会教育委員連絡協議会の負担金（会費）納入について（お願い）

若葉の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本協議会の運営に温かいご支援とご協力を賜り、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、通常総会が終了いたしましたので、本日各管内社連協事務局を通じて総会議案書をお届けいたしました。

つきましては、北海道の社会教育及び社会教育委員の充実に向けた活動方針や事業計画に対しご理解いただき、本年度も下記のとおり負担金（会費）のご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

記

- 1 負担金（会費） 委員1名について、3,000円
- 2 納入方法 別紙請求書に基づき、指定の金融機関への振込でお願いします。
誠に恐縮ですが、振込料はご負担願います。
- 3 納入期日 事業等の円滑な運営のため、6月30日までに納入願います。

事 務 連 絡

令和 2 年 4 月 2 4 日

各管内社連協 事務局長
各市町村社連協担当者 様

北海道社会教育委員連絡協議会
事務局長 三 原 和 廣

北海道社会教育委員連絡協議会の負担金（会費）納入について
このことについて、令和2年4月23日付け、道社連協第3号によりお願い申し上げたところですが、下記によりお願いいたします。

記

1 文書の配布

管内社連協事務局においては、①道社連協第3号文書、②請求書、③この事務連絡の三つを各市町村に配付願います。

2 請求書について

令和2年度の委員数が確定していない市町村もあることが予想されることから、必要事項を空欄としていますので、各市町村において記入のうえご使用願います。

3 管内事務局が一括取りまとめて納入する市町村について（石狩、後志、留萌の3管内）

（1）管内事務局に納入することになりますので、送付した請求書が不要の場合は適宜処分してください。

（2）管内事務局においては、全部の市町村分を取りまとめ後、請求書の道社連協指定口座に振り込むよう願います。

TEL 011-271-5453

担当 辻

